

宮島地域コミュニティだより 通

平成 23(2011)年 2 月発行

編集・発行 / 宮島地域コミュニティ推進協議会

TEL : 44-2000 FAX : 44-2196

ホームページ <http://www7.enjoy.ne.jp/~miyajimacc/komyunithy.html>ブログ <http://miyajima1.exblog.jp/>

電気自動車試乗会

1月19日(水)に、女性会有志が電気自動車を支所から包ヶ浦間で試乗しました。

《試乗された感想》

発信時は静かだった。スピードを出したときにスピード感を感じなかった。

乗車してみて、音は非常に静かでした。発車時にも、音がなく、気持ち良かったです。快適。



外からも内からもとても静かでした。(外の風の音が聞こえるくらい) 乗り心地は普通の軽自動車並みかな? と思います。長時間運転してみたいと思いましたが、まだまだ購入価格も高いし、早く、自分(車自体)でソーラーパネルとかついて充電しながら走れるようになったら、また、乗ってみたいです。排ガスが出ないのが一番いいと思いました。

環境学習会第2回



「考えよう環境あれこれ～ニュージーランドの環境～」をテーマに、1月28日(金)宮島市民センターで、環境学習会を開きました。講師は、国際交流員のリサ・ジャンさんです。1000年前は無人島だったニュージーランドは、ここにしかない生物の種類が多いそうです。その貴重な自然環境を守ろうと、人々は資源を大切に使っているというお話でした。

ニュージーランドでは“資源を大切にしよう”と考え始めたのは、キウイ、カカポ、ケア、ウエタ、トゥアタラ等の固有生物を守るため、始まったものです。特に、水と電力を大切にしており、お風呂では、浴槽に水をためずに短時間でシャワーをしたり、天井と屋根の間に綿を入れ、暖房代を節約したり、カーテンを温かい色にしたりと、色々資源を大切にされていると思いました。リサさんにニュージーランドの話を聞けて、大変良かったです。ありがとうございました。

感想は裏に続きます。

環境学習会の感想続き

1年前に宮島に来たときの印象で、海岸が思ったより汚れていると思いました。前に住んでいた町では、月に1回、全員で掃除をしていましたが、宮島は個人が身のまわりの所を掃除しているためか、全体で掃除をするのは少ないと感じました。

ニュージーランドの方が自然の物を利用する取組みと自然を残そうという意識が高いと思った。

宮島の環境に対して話し合う場を設けてみてはどうかと感じました。

参加者層を限定した内容で実施してみてもいい？ 保護者層、老人クラブ層、商店街層、飲食店層 etc。

自然を大切にすること、固有生物を大切にすること、資源を大切にすることが環境を良くすることにつながるということになるのが、改めてよくわかった。

ニュージーランドのことが聞けて良かったです。世界遺産の亜南極諸島の自然を大切にするため、行く人の人数制限をされているということを知り、宮島について将来どのようなことになるのかを考えてしまいました。今は、観光客増加を大変喜び、弥山、その他の山の入山を勝手にされていますが、後世に伝えるため何らかの手立てが必要ではないかと思いました。宮島の観光と自然を守ることについて、今後の取組みを期待します。

まちづくり基本条例検討市民委員会

廿日市市では、市民と行政の協働で、まちづくり基本条例の検討を進めています。2月3日には宮島地域で市民ミーティングも開かれ、29人が出席しました。市民委員として参加されているお二人に、これまでの感想をいただきました。

少子高齢化が進む中、官民一体でまちづくりを盛り上げていきたい。特に、白糸川の災害などもあった宮島地域では、安心・安全が一番大切。皆で協力して地域づくりに参加して欲しいと感じました。 宮島町総代会 正木会長（談）

会議に参加してみて、市内五地域、それぞれの特性があることがよくわかりました。各地域の特色を生かせる条例になればいいと思います。

行政職員が地域活動に参加しやすいルール作りをしてほしいと思いました。

宮島地域の住民としても、これからも、まちづくりの協力、支援をしていきたいです。 コミュニティ推進協議会 井上会長（談）

編集後記

皆さんに、環境について関心を持っていただきたいと考え、環境学習会を開催していますが、まだまだ参加者も少ない状況です。宮島の環境を守るために、皆と一緒に取り組めることを考える土壌をつくるために、工夫していきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。

生活・環境部会 蒲田部会長（談）